



# 琉球ガラス はしおき

～琉球ガラスの歴史を学びながら、

琉球ガラスの箸置きを作しましょう～

沖縄の民芸品をモチーフに箸置きを作る手順

製作 GlassWorksちゆき  
主宰 吉田栄美子  
連絡先 098-989-0233

GlassWorksちゆき  
主宰 吉田栄美子

GlassWorksちゆきは、様々なガラス体験事業と特許技術を活かした工芸品を制作、販売をしています。

### 履歴

京都造形短期大学卒(現:京都造形大学)

東京ガラス工芸研究所卒

中学校教諭二種免許状(美術)

琉球ガラス工房就職後1999年に独立

読谷村高志保で「ちゆき工房」を13年間開業

恩納村移転改名「GlassWorksちゆき」

特許技術を取得(特許第5818177号)2015年

沖縄総合美術展(沖展)入選5回

同 浦添市長賞受賞

日本のガラス作家展入選 (英出展)

パリコレクション出展(バックメーカーとコラボレーション)

各種メディアで紹介

沖縄タイムズ、琉球新報、QABテレビ「スパイス」

福島県出身 中2男子の母



# 琉球ガラスの歴史

1920年

アールヌーボーで有名なエミール・ガレやミュシャの作品がヨーロッパで華やいだころ、薩摩商人が「沖縄ガラス製造所」を創設しました。

1944年

第二次世界大戦ですべて焼失した琉球ガラスは、復帰後コーラ瓶やビール瓶など廃ガラス(くず瓶)を使い、菓子瓶や統治下米軍人から依頼されてパンチボールセットやワイングラスのオーダー品を作りました。

1972年

日本復帰後、本土向けの製品が主流になり、現在のような華やかで、多種多様のガラス器を県内のガラス工房で製造販売するようになりました。

\* 参考資料

沖縄県琉球ガラス製造協同組合



エミール・ガレ



薩摩切子



パンチボールセット



琉球ガラス



# 琉球ガラスの特徴

## 1) 沖縄ガラスの色の特徴と味わい

材料の廃ガラスの色をそのまま用いるというのが基本になっていて、約7種類の色があります。

淡水色は一升びんの色、みどり色は清涼飲料水のセブンアップの瓶の色、茶色はビール瓶の溶けた色です。また薄茶色は透明の瓶と茶色の瓶を混ぜた色です。

沖縄ガラスの特徴は、材料に廃ガラスを使い、他のガラス器に見られるようなガラス特有の透明感や冷たい感じや繊細さはなく、むしろくすんだ色や気泡があっても意に介しない素朴さや温かさが人気です。

## 2) 特徴を抑えつつ環境を考えた動き

現在は、材料の瓶ガラスの減少と環境にやさしい材料を使って、色鮮やかな、独自のデザインで沖縄を自然を表現した、県内ガラス工房が増えています。

\* 参考資料: 那覇市伝統工芸館「琉球ガラスの歴史」より



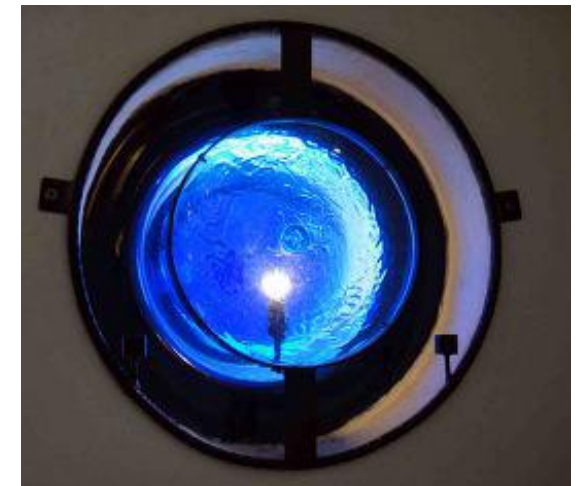
セブンアップの瓶



色の瓶



気泡の入ったコップ



琉球ガラス建具

# 琉球ガラスと沖縄文化

## 1) 20箇所以上のガラス工房

沖縄県内、離島も含めると20か所以上のガラス工房が点在しています。

各工房の特色を生かした作品を空港や土産店、ネットショップで目にします。

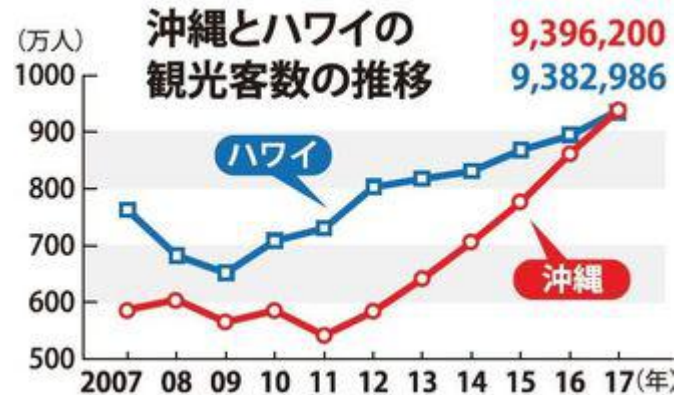
暑い沖縄で、暑い仕事が発展している、とても珍しい現象です。

## 2) 観光客の増加とニーズ

昭和47年56万人統計開始から平成28年984万人と増え続け、海外からの観光客も比例して増えています。

豊かな自然と食、伝統文化が独特の沖縄に魅力を感じる多くの方が、琉球ガラスを買い求めています。伝統と新しいムーブメントを否定せずに育てる、沖縄のチャンプルー文化が琉球ガラスの工芸の発展の鍵となっています。

参考資料: 朝日新聞電子版・沖縄タイムスプラス





# 琉球ガラスの技法

1) 琉球ガラスで出来る事  
材料を廃ガラス、環境を考えたガラス原料  
区別なく、琉球ガラスの技法から作り出すものを  
紹介します。

吹きガラス・・・コップ お皿、小鉢、箸置き、ランプ  
フュージング・・・お皿、箸置き、アクセサリー、建具  
とんぼ玉・・・アクセサリー  
サンドブラスト・・・記念品全般

皆さんは琉球ガラスの伝統を体験するため  
廃ガラスを使って、フュージング技法で  
箸置きを作ります。



# 沖縄の民芸品「くばの葉のうちわ」 廃ガラス(窓ガラス)を使って、琉球ガラスの箸置きを作ろう

”くばの木”は空港やリゾートホテルなどで見かけます。

くばの木の葉は大きく、丈夫で民芸品の材料に用いられます。

くばの傘、くばの葉のうちわ、水汲み カゴなど人の手で現在も使われている民芸品です。

沖縄のエイサーで  
道化役のチョンダラーが  
くばの葉のうちわで、  
踊り手や観客を盛り上げる  
ように、扇子踊ります。  
沖縄の民芸品を、  
琉球ガラスで作みましょう。





## ガラスに印をつけて ガラスをカットしましょう

久場の葉シートの上にガラスを置き、  
マジックで輪郭線を描きましょう  
一枚ずつ、印をつけながらカットします

**\* ガラスはフチを触ると、手が切れますので、  
必ず面を持ってください**

**\* 安全メガネをつけてください**

**\* 担当者の指示に従ってください**

① マーカーで印を付けましょう

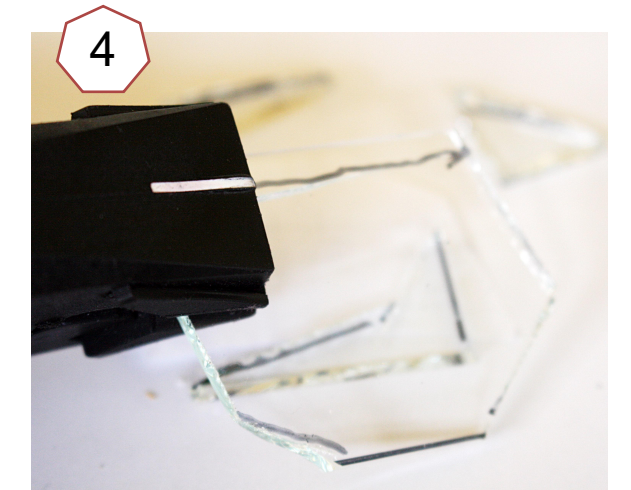
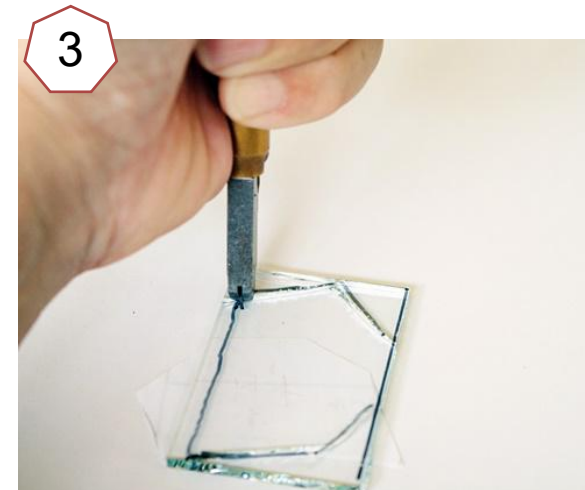
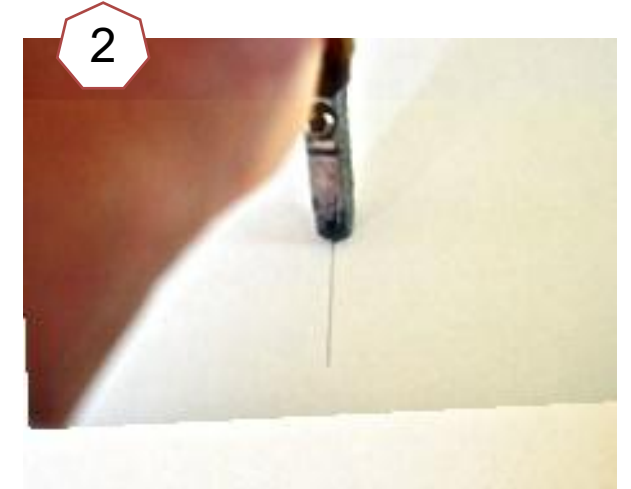
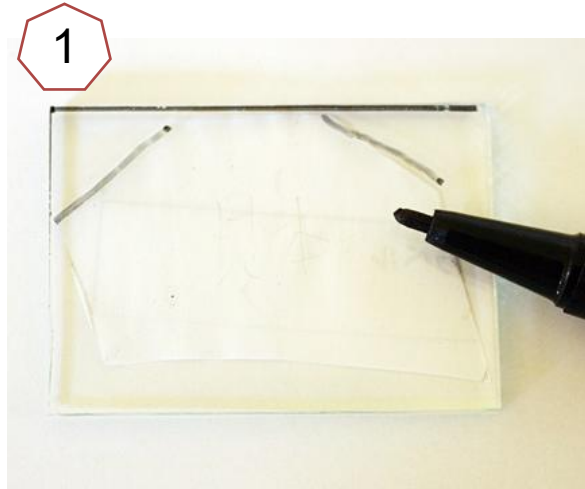
② ガラスを切る練習をしましょう

③ ガラスを切りましょう

④ 専用ペンチでガラスを割ります

⑤ 切ったガラスは刷毛でまとめます

◆ 1枚のみカットします





## 色を置き、竹串で模様を描きます

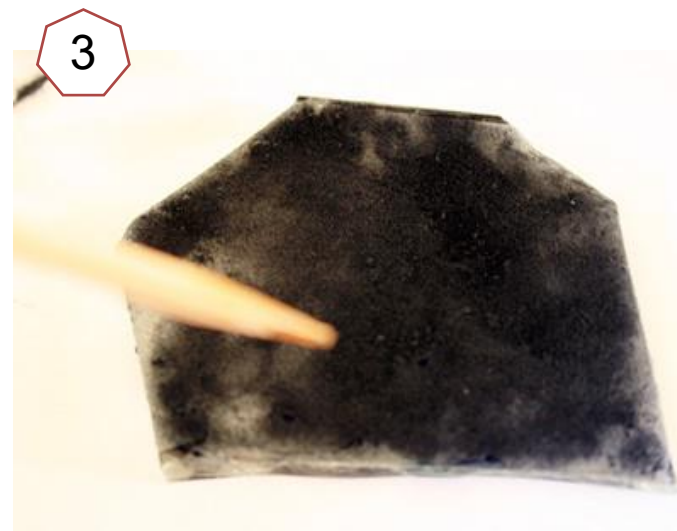
\* ガラスをカットしたフチには触らないでください。

①好きな色を選んでください。

②色を水で湿らせ、ガラスの上に乗せます。

③湿らせすぎると、竹串の模様が寄れますので気を付けましょう

④乾燥します



## 乾燥した色の面を竹串で 模様を描きます

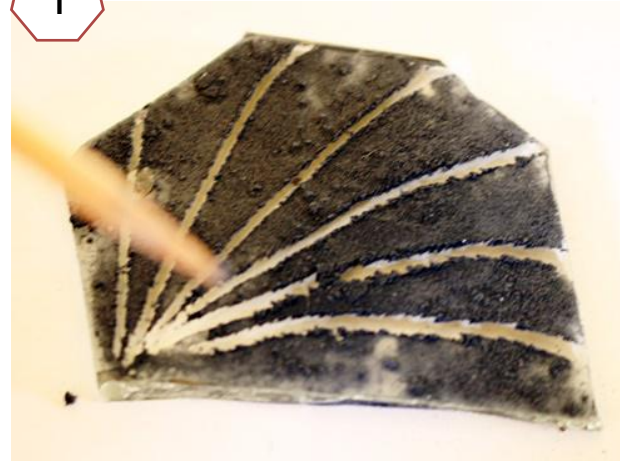
①竹串で、久場の葉の葉脈をつくります  
削るように付けます

②トップのガラスに、三角ガラスを乗せて  
完成です

竹串でオリジナルの模様やイニシャルな  
ど好きに表現しましょう

③ 完成です  
(青、赤、黒)

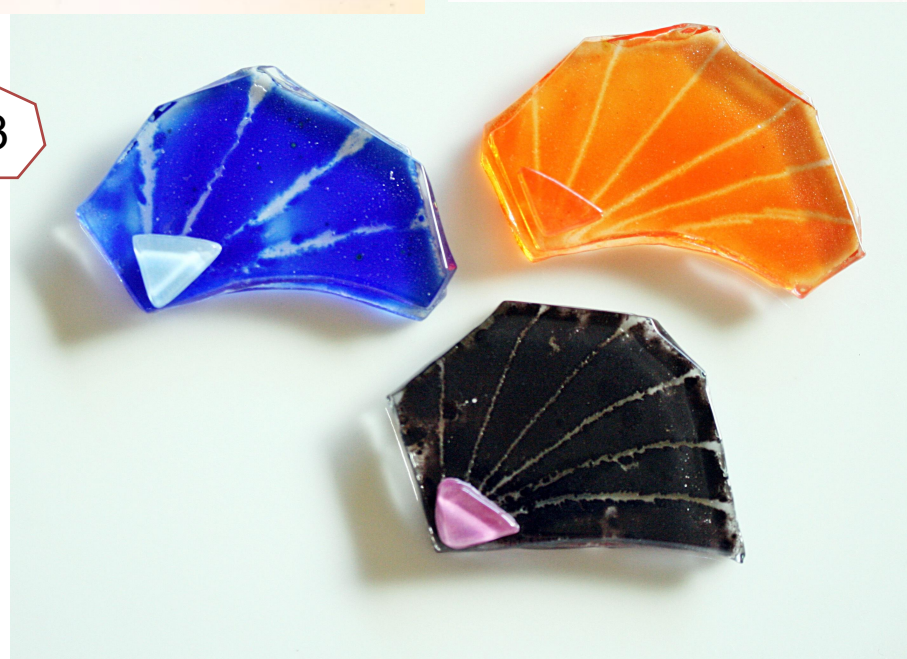
1



2



3





## 焼けて3週間～1か月で お届けします

自分の作品と判るように、マークやデザイン  
を工夫しましょう

スマホで自分の作品を撮りましょう

届いたら、自分の作品を画像で確認しながら、  
受け取りましょう。

素敵な思い出の一つになれば、幸いです。

どうもありがとうございました。

GlassWorksちゆき  
主宰 吉田栄美子

